

第 6 2 回 通 常 総 会 議 事 録

東京都新宿区津久戸町 4 番 6 号
公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会

日 時：令和 3 年 5 月 2 8 日（金） 15:30～16:40
場 所：本工学会会議室 オンライン開催（<https://jpci.webex.com/>）

1. 開 会

西垣専務理事が開会を宣言し、出席正会員は委任状とも 1,429 名で、定款第 17 条に規定する、正会員総数 2,515 名の 2 分の 1 以上の出席を得ているので、本総会は成立する旨報告があった。なお、正会員 61 名がテレビ会議システムにより出席した。

2. 出席役員

会長：井上 晋、副会長：阿波野昌幸、前田晴人[○]、専務理事：西垣義彦[○]、
常務理事：下村 匠[○]

理事：内野英宏、春日昭夫、岸本一藏、齊藤成彦、佐藤忠宏、玉井真一、
丹野 弘、二井谷教治、西山峰広、二羽淳一郎、深井 悟、三島康造、
睦好宏史、八木恵治、山田真人の各理事

監事：上杉泰右[○]、大西睦彦、大村一馬

顧問：宮川豊章

注) ○印は、本工学会会議室出席者を示す。

ほかは、テレビ会議システムによる出席者である。

3. 井上会長挨拶（要旨）

第 6 2 回通常総会にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年来、新型コロナウイルス感染拡大の長期化により日本中が大きな困難に直面し、国民生活、社会経済に大きな影響を与えている。心よりお見舞い申し上げます。

本日の総会は、感染防止対策の観点からオンライン形式での開催とさせていただいた。本工学会にとって初めてのオンライン総会となるが、円滑な進行に努めたい。

本工学会は、1958年に創立以来、わが国のプレストレストコンクリートおよびコンクリート構造に関する学術と技術の進歩ならびに会員の資質の向上と国際的な情報交流を図り、社会の安全と発展に貢献することを目的に活動してきた。1960年に社団法人となり、2012年に公益社団法人に移行、本年は公益社団法人となって10年目を迎える。

昨年度は、コロナ禍で本工学会の事業活動も大きく影響を受けた年となった。昨年6月のPC技術講習会、7月のコンクリート構造診断士試験は中止せざるを得ず、9

月以降開催の各種講習会、PCシンポジウムは、オンライン形式によるライブ配信あるいはオンデマンド配信に変更させていただいた。昨年7月に本工学会もウェブ会議システムを導入し、オンライン形式による会議が主流となっている。一方で一堂に会する技術交流の場は重要であり、そのような機会を提供できるよう努めていかなければならない。

わが国は、少子高齢化が進み、厳しい財政状況のもと、インフラ構造物の老朽化や近年頻発する大規模自然災害を背景に、安全で安心なインフラの整備が求められている。これらの課題にPC技術、プレキャスト化技術が生産性、耐久性の向上、維持管理・更新、防災・減災、環境負荷低減に果たす役割は大きく、本工学会は持続可能な社会に貢献すべく技術情報の発信、規準類の整備を推進していかなければならない。規準類の整備については、新材料、新技術や関連技術を取り込み、普及を図っていく。また、本工学会認定のプレストレストコンクリート技士とコンクリート構造診断士は、国土交通省登録資格として構造物の品質・安全確保、維持管理において専門性の高い技術者資格であり、関係機関に有効に活用していただくことを願っている。

国際活動においては、国際組織 *fib* に日本コンクリート工学会とともに日本を代表して参画している。本工学会理事の春日氏が今年1月、*fib* 会長に就任し、CO₂削減に如何に *fib* が貢献すべきか会長としてメッセージが発信された。2017年、本工学会は持続可能な社会の実現に向けてPC技術がどのように貢献していくべきか、活動指針をPCサステナビリティ宣言として公表したが、具体的な活動に移していく段階にきている。

今年6月開催予定のPC技術講習会は48回目を数え、今回初めてオンデマンド配信を予定している。講演題目にPCアーカイブ「旧国鉄設楽線：第一大戸川橋梁」をとり上げているが、先日、文化庁文化審議会より文部科学省へ「第一大戸川橋梁」を国の重要文化財に指定するよう答申がなされた。関係者にとって大変喜ばしいニュースであり、是非、本講習会にご参加いただければ嬉しく思う。

本日は、昨年度の事業についてご審議をいただき、今年度の活動に活かしていきたい。最後までご審議の程をお願いして私の挨拶に代えさせていただく。

4. 議長選出

西垣専務理事から本総会の議長は定款第15条により、会長がこれに当たるとの説明があり、井上会長を議長とした。

5. 議事録署名人の指名

議長発言にて、定款第19条の規定では、議事録署名人は、議長および議長が指名する出席者2名以上としている旨、説明があり、次の両氏が指名された。

阿波野昌幸氏

前田晴人氏

6. 議 事

第1号議案 令和2年度事業報告

議長より前田副会長が指名され、本日配布の議案説明が行われた後、議場に諮った結果、原案どおり承認議決された。

第2号議案 令和2年度収支決算報告

議長より西垣専務理事が指名され、まず令和2年度収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、および財産目録に関し説明があった。

さらに、上杉監事から監査の結果、何れも適正且つ妥当であった旨の監査報告、ならびに本決算報告について茂利公認会計士のご指導を受けたとの報告があり、議場に諮った結果、原案どおり承認議決された。

第3号議案 役員改選

議長より本工学会の役員の改選については、毎年約半数の改選が行われ、新任ならびに再任役員の選任については、総会の承認を要する旨の説明があった。

すなわち、本通常総会の終結をもって理事内野英宏、太田 誠、春日昭夫、玉井真一、丹野 弘、土橋 浩、西山峰広、二羽淳一郎、睦好宏史、山田眞人および監事大西睦彦、大村一馬の任期が満了し、また理事二井谷教治氏より辞任の申し出があったため、次に示す表により理事および監事を選任したい旨を議場に諮った結果、満場一致で承認議決された。

なお、新任理事の大信田秀治氏は、辞任理事の二井谷教治氏の後任であり、任期は残任期間となる。

新任・再任役員				継続役員			
理 事	大信田	秀 治	(新任)	理 事	阿波野	昌 幸	
同	大 西	睦 彦	(新任)	同	井 上	晋	
同	勝 木	太	(新任)	同	岸 本	一 藏	
同	佐 藤	靖 彦	(新任)	同	齊 藤	成 彦	
同	左 東	有 次	(新任)	同	佐 藤	忠 宏	
同	並 川	賢 治	(新任)	同	下 村	匠	
同	太 田	誠	(再任)	同	中 村	光	
同	春 日	昭 夫	(再任)	同	西 垣	義 彦	
同	玉 井	真 一	(再任)	同	深 井	悟	
同	丹 野	弘	(再任)	同	前 田	晴 人	
同	西 山	峰 広	(再任)	同	三 島	康 造	
監 事	松 原	喜 之	(新任)	同	八 木	恵 治	
同	大 村	一 馬	(再任)	監 事	上 杉	泰 右	
辞任理事	二井谷	教 治					

議長発言にて、続いて行う第1号報告の令和3年度事業計画および第2号報告の令和3年度収支予算については、3月16日に開催した第642回理事会において、審議の上、承認されている旨、報告があった。

第1号報告 令和3年度事業計画

議長より阿波野副会長が指名され、令和3年度事業計画の説明があり、了承された。

第2号報告 令和3年度収支予算

議長より西垣専務理事が指名され、令和3年度収支予算書に関し説明があり、了承された。

7. 名誉会員推挙

議長より、本会ならびにプレストレストコンクリート技術の普及と進歩発展のため、長年にわたり功績を残された方を名誉会員に推挙しているとの説明があった。本年度の候補者として竹田清二氏、丸山久一氏および脇本 優氏が披露され、総会に諮った結果、満場一致で名誉会員への推挙が承認された。

8. プレストレストコンクリート工学会賞授与

令和2年度プレストレストコンクリート工学会賞の授与について、工学会賞選考委員会宇治公隆委員長から、令和2年度工学会賞選考理由について説明がなされた。

○論文賞（賞状と記念品）

- | | |
|---|--|
| ● ビーム・アーチ機構を考慮したPC梁のせん断耐力
(会誌第62巻5号) | Devin Gunawan 殿
大 窪 一 正 殿
中 村 拓 郎 殿
二 羽 淳一郎 殿 |
|---|--|

○作品賞（賞状と記念盾）

(土木部門)

- | | |
|---------|--|
| ● 矢賀こ線橋 | 西日本旅客鉄道(株) 殿
広島市 殿
ジェイアール西日本コンサルタンツ(株) 殿
大成建設(株)・広成建設(株)特定建設工事共同企業体 殿 |
|---------|--|

- 江川大橋 (独)水資源機構 殿
(株)長大 殿
三井住友建設(株) 殿

(建築部門)

- 栃木県総合運動公園陸上競技場 栃木県 殿
(株)久米設計 殿
A I S 総合設計(株) 殿
(株)本澤建築設計事務所 殿
鹿島建設(株) 殿
(株)増渕組 殿
渡辺建設(株) 殿
那須土木(株) 殿
磯部建設(株) 殿
(株)浜屋組 殿

- 北区立田端中学校 東京都北区 殿
シーラカンスK&H 殿
(株)K A P 殿
越野・川田・高山異業種特定建設共同企業体 殿
オリエンタル白石(株) 殿

(改築・改修部門)

- 中央道上田川橋の更新 中日本高速道路(株) 名古屋支社 殿
(株)大林組 殿

○技術開発賞（賞状と記念盾）

- P C防液堤のプレキャスト化 鹿島建設(株) 殿

○施工技術賞（賞状と記念盾）

- 首都高速 1 号羽田線 鮫洲埋立部（更新 I 期線）
首都高速道路(株) 更新・建設局 殿
大林・清水・三井住友・東亜・青木あすなろ・川田・東骨・MMB・宮地 J V 殿

- U 桁リフティング架設の合理化 中日本高速道路(株) 殿
三井住友建設(株)・(株)日本ピーエス・極東興和(株) J V 殿
三井住友建設(株)・川田建設(株)・ドーピー建設工業(株) J V 殿

● 新富良野大橋A橋上部工事

国土交通省北海道開発局 旭川開発建設部富良野道路事務所 殿
(株)大林組 殿

9. 閉 会

西垣専務理事が閉会を宣し、第62回通常総会は滞りなく終了した。

令和3年5月28日

公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会

議長・会長 井 上 晋 ⑩

署 名 人 阿波野 昌 幸 ⑩

署 名 人 前 田 晴 人 ⑩